

2022 年度



医療法人社団シャローム

年 報

2022 年度

(2022 年 4 月～2023 年 3 月)

令和 4 年度

(令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月)

～ 巻頭言 ～

医療法人社団シャローム 理事長 鋤柄 稔

2022年度の社団シャロームの目標は、下記の通りでした。

- ①理念の再確認（聖書に基づいて、“患者が主人で我々は召使い”）
- ②新型コロナウイルス対策継続
- ③収支を重要因子と位置付ける
- ④職員満足度を高める
- ⑤給与の改善を目指す

①②③については、目標は達成できたかなと思っております。④⑤については、給与の改善も職員の満足度を高める重要な因子の一つとして考えて上げた目標でしたが、現状の財政状況は厳しく、大幅 Up には至りませんでした。そのような中でも、日々絶え間なく患者さんと地域のために奮闘してくださり、“シャロームという職場が好き、ここを愛している”と言って励ましてくれた職員一同に敬意と感謝の念を抱いています。

この4月からは、社団シャロームの中核である病院の院長が狩野先生になります。先生による指揮によって、患者様、地域のために更なる貢献できるシャロームであってほしいと思います。職員の皆様にとっても、今まで以上に働きがいのあるシャロームになることを期待しています。年報が、そのための資料になることを願います。

2022年度 医療法人社団シャローム運営指針

（1）理念の再確認（聖書に基づいて「患者が主人で我々は召使い」）

（2）新型コロナウイルス対策継続

（3）収支を重要因子と位置づける

（4）職員満足度を高める

（5）給与の改善を目指す

～理念、方針のバックボーンは聖書に拠る～

【理念(表題)】

私たちは聖書の教えに基づき、病める人々のご家族の痛みに寄り添い、心を合わせて、優しく温かい医療に努めます。

聖句 (イザヤ書 26 章 3 節)

あなたは全き平安をもって ころごしの堅固な者を
守られる
彼はあなたを信頼しているからである

【基本方針】

1. そのままに、あるがままに
2. あなたと私の Shalom (平安) (Shalom の共有)
 - ・患者中心主義 (Patient-Oriented) のもと、安全と安心な満足度の高い医療提供を行い、質の高い医療水準を維持するように努めます。
 - ・患者さんへの十分な説明、患者さんへの情報開示、セカンドオピニオンへの協力を努めます。
 - ・個人情報保護、患者さんの権利を尊重すること、患者さんからの声に耳を傾けることに努めます。
 - ・私どもは以下の方針を念頭におき患者さんへのケアにあたるよう努めます。
 - (1) 大切なのはどれだけ多くのことをやったかではなく、どれだけ心を込めてやったかである。
(マザーテレサ)
 - (2) 患者が主人で我々は召使である。(日野原 重明)
 - (3) ホスピスは建物ではない、哲学である。(シシリー ソンダース)
 - (4) Think globally act locally
 - (5) 職員全員参加によるケア提供
 - (6) 許し合いとチームワーク
 - (7) 謙虚さ
 - ・上記の理念・基本方針に基づき患者中心主義を貫く。
 - ・患者と職員の双方にシャロームが与えられる施設を目指す。

【使 命】

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに呼応した多岐にわたる医療を行う。

【スローガン】

あなたのシャロームは私たちのシャロームです。

Your Shalom is Our Shalom.

病院概要

診療科

一般外来(内科、外科、禁煙外来)、皮膚科、緩和ケア内科、乳腺外科、小児科、循環器内科、神経内科、人工透析内科

その他〔人間ドック、健康診断、乳がん検診、各種予防接種、リハビリテーション科、透析センター他〕

検査機器

レントゲン、マンモグラフィー、CT、人工透析機器、超音波検査、心電図、上部・下部内視鏡

病床数 (2023年3月31日現在)

区分	許可病床	稼働病床	施設基準
一般病床	25床	24床	急性期一般入院基本料4 人員配置10対1
緩和ケア病床	30床	20床	緩和ケア病棟入院料2 人員配置7対1
計	55床	44床	
透析病床		27床	第1透析室20床・第2透析室7床

診療体制 (2023年3月31日現在)

区分	常勤医師	非常勤医師	備考
一般外来	7名	6名	常勤医師:病棟も兼任
乳腺外来	1名		
緩和ケア科	4名		2名:一般外来と兼任 1名:病棟担当
皮膚科	1名		
小児科	1名	2名	
神経内科		1名	
循環器内科		1名	
その他		7名	当直対応6名・透析回診1名

外来診療、検査、手術(外来・入院)、救急対応、透析、病棟診療、多職種カンファレンス、在宅及び施設訪問診療、学校健診、企業健診(産業医)、比企地区市町村健診、につさい医院診療

*全ての常勤医師は訪問診療に携わっており、入院患者も対応している。

*当直専門医師を1名増員し、医師の負担軽減を図った。

シャローム病院の特徴

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに応じた外来診療、訪問診療、訪問看護(24時間在宅対応体制)を行う。

【埼玉県第二次保健医療圏:川越比企保健医療圏に属する】

(構成市町村) 東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、ときがわ町、鳩山町、東秩父村、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町

職員数 (2023年3月31日現在)

常勤 147名・非常勤 73名

単位:人

職 種	常勤	非常勤	職 種	常勤	非常勤
医師	11	17	管理栄養士	1	0
看護師	57	18	薬剤師	3	0
准看護師	3	4	医療福祉相談員	3	0
放射線技師	2	0	チャプレン	1	0
臨床検査技師	3	1	ボランティアコーディネーター	0	1
臨床工学技士	7	2	事務職員	31	20
理学療法士	4	0	看護補助者	18	4
作業療法士	1	0	守衛	1	1
運転手	1	3			

医療連携

【 連携施設 】

- ・埼玉医科大学病院提携医療機関 ・埼玉医科大学総合医療センター医療連携協力施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター医療連携施設 ・埼玉県立循環器・呼吸器病センター連携医療機関
- ・自治医科大学附属さいたま医療センター医療連携協力施設

【 東松山市内の医療機関病院 (7 施設) 】

埼玉成恵会病院、東松山病院、東松山医師会病院、東松山市立市民病院、大谷整形外科病院
武蔵嵐山病院、シャローム病院

認定・指定等

- ・二次救急告示病院(比企地区輪番:金曜日担当) ・日本医療機能評価機構認定病院
- ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関 ・小児慢性特定疾病医療機関
- ・指定自立支援医療機関(精神通院医療:小児科)(育成医療・更生医療:腎機能)
- ・在宅療養支援病院(機能強化型・単独型) ・在宅難病患者一時入院事業受入機関
- ・指定医療機関 ・埼玉県域リハビリテーション協力医療機関
- ・埼玉県指定診療・検査医療機関 ほか

研修・指導施設

- ・臨床研修協力施設(厚生労働大臣認定) ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・埼玉医科大学病院臨床研修協力施設 ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター臨床研修協力施設 ・日本緩和医療学会認定研修施設

会 員

- ・日本ホスピス緩和ケア協会正会員施設 ・NCD 施設会員

建物の概要

区分	旧 棟	新 棟
4階	多目的ホール、医局、医師当直室、看護部長室、看護師長室、総務課、診療情報管理室 医療福祉相談室(事務所)	医局
3階	一般病棟、談話室、浴室、カンファレンス室 スタッフステーション	ボランティア室、相談室、チャプレン室、 家族宿泊室、家族浴室、リハビリ室、 研修室、屋上庭園
2階	透析室、透析デイルーム、透析機械室、手術室、 中央材料室、診療材料室、図書室、薬剤科	緩和ケア病棟、デイルーム、浴室(介護 浴・機械浴)、第2透析室
1階	医事課第1受付、外来診察室、採血室、放射線 科、生理機能検査室、内視鏡室、点滴処置室、 測定室、発熱外来、理学療法室、訪問看護ステ ーション、介護支援事業所、ヘルパーステーシ ョン	医事課部門、医療福祉相談室、救急 室、皮膚科、小児科、授乳室、守衛室
地階	栄養科、厨房、職員食堂、休憩室、職員更衣室	

併設施設

- ・訪問看護ステーションシャローム
- ・介護支援事業所シャローム
- ・ヘルパーステーションシャローム

分院

- ・シャロームにつさい医院

医療法人社団シャローム シャローム病院 沿革

年 月 日	事 柄
1991 (平成 3) 年 3 月	冊子「キリストの医院を始めるにあたって」発行
1993 (平成 5) 年	シャローム債発行
1994 (平成 6) 年 4 月 1 日	シャローム鋤柄医院開設 (19 床)
1994 (平成 6) 年 10 月	法人化 (医療法人社団シャローム)
1999 (平成 11) 年 4 月 1 日	訪問看護ステーション シャローム開設
2000 (平成 12) 年 4 月 1 日	介護支援事業所 シャローム開設 ヘルパーステーション シャローム開設
2005 (平成 17) 年 12 月	有償移送サービス開始 機能強化型在宅療養支援診療所 (24 時間体制) となる 特養配置医 2 施設 東松山ホーム (東松山市)・吹上苑 (鴻巣市)
2004 (平成 16) 年 1 月 1 日	株式会社正木製作所の産業医となる
2006 (平成 18) 年 4 月 1 日	電成興業株式会社の産業医となる
2006 (平成 18) 年 12 月	増改築、全室個室化、透析室開設、理学療法室開設、電子カルテ 導入
2007 (平成 19) 年 3 月 1 日	指定自立支援医療機関 (精神通院医療) として指定される
2007 (平成 19) 年 4 月 1 日	東京農大第三高校学校医となる
2007 (平成 19) 年 6 月 1 日	指定自立支援医療機関 (育生・更生医療) として指定される
2007 (平成 19) 年 6 月 1 日	訪問リハビリテーション開始

2007 (平成 19) 年 9 月 13 日	埼玉医科大学病院臨床研修協力施設に指定される
2011 (平成 23) 年 4 月 1 日	シャロームにつさい医院開設 (坂戸市)
2012 (平成 24) 年 4 月 1 日	埼玉医科大学病院提携医療機関に指定される
2012 (平成 24) 年 8 月 1 日	埼玉医科大学国際医療センター医療連携施設に指定される
2013 (平成 25) 年 4 月	病院給食・清掃直営から委託となる
2013 (平成 25) 年 10 月 1 日	有床診療所から病院 (病床 55 床) へと移行する シャローム鋤柄医院からシャローム病院に名称を変更する 在宅療養支援病院 (強化型) となる
2014 (平成 26) 年 2 月 1 日	外来呼び出しシステム導入
2014 (平成 26) 年 8 月 1 日	日本消化器外科学会専門医指定修練施設に指定される
2014 (平成 26) 年 9 月 9 日	第二次救急告示病院 (救急指定病院) の認定を受ける 比企地区病院郡二次救急輪番制のうち木曜・日曜を担当
2014 (平成 26) 年 11 月	MCA 無線購入 (埼玉県の MCA 無線設置施設が 46 施設となる)
2014 (平成 26) 年 12 月 4 日	透析医療を考える会参加開始 埼玉県の MCA 無線情報伝達訓練に参加開始
2014 (平成 26) 年 12 月 15 日	第 1 回埼玉県全域 E M I S 入力訓練参加
2015 (平成 27) 年 1 月 1 日	日本外科学会外科専門医制度関連施設に指定される
2015 (平成 27) 年 1 月 1 日	指定医療機関に指定される 指定小児慢性特定医療機関に指定される
2015 (平成 27) 年 4 月 1 日	病院組織によるボランティア活動開始
2015 (平成 27) 年 5 月 1 日	埼玉医科大学総合医療センター医療連携協力施設となる
2015 (平成 27) 年 7 月 1 日	透析患者送迎が委託から直営となる
2015 (平成 27) 年 7 月 14 日	第 2 透析室運用開始
2015 (平成 27) 年 8 月	守衛業務開始 (夜間、日・祝日日勤)
2015 (平成 27) 年 10 月 1 日	在宅難病患者一時入院事業受入機関となる
2015 (平成 27) 年 10 月 1 日	在宅患者の後方支援ベッド (1 床) 当番開始
2015 (平成 27) 年 12 月 10 日	比企歯科医師会 歯科衛生士による入院患者の口腔アセスメント 事業開始 (埼玉県歯科医師会委託による)
2016 (平成 28) 年 1 月 13・14 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価受審 (初回)
2016 (平成 28) 年 4 月 1 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価合格 認定病院となる
2016 (平成 28) 年 7 月 1 日	緩和ケア病棟開設 ※厚生局の認可 (保険診療)
2016 (平成 28) 年 11 月 1 日	日本ホスピス緩和ケア協会会員施設となる
2017 (平成 29) 年 3 月 31 日	埼玉県域リハビリテーション協力医療機関に指定される
2017 (平成 29) 年 4 月 1 日	比企地区二次救急病院群輪番制のうち日・月・水・木曜を担当
2017 (平成 29) 年 6 月 1 日	検査会社を保健科学より SRL に変更・院内至急検査開始
2017 (平成 29) 年 6 月 17 日	ホスピス講演会「この町のホスピスにやってくる」を主催
2017 (平成 29) 年 7 月 26 日	暖和室しゃろーむ ～がんと向き合う人の集い～ 開始
2017 (平成 29) 年 8 月 1 日	指定自立支援医療機関 (精神通院医療) に指定される
2017 (平成 29) 年 12 月 1 日	遠隔画像読影システムを構築
2017 (平成 29) 年 12 月 11 日	埼玉県立循環器・呼吸器病センター連携医療機関に指定される
2018 (平成 30) 年 5 月	MCS (メディカルケアステーション) を導入・利用開始
2018 (平成 30) 年 5 月 31 日	NCD (National Clinical Database) 施設会員となる
2018 (平成 30) 年 10 月 17 日	第 2 透析室に 2 台のチェア型ベッドを導入 (合計 27 床)
2019 (平成 31) 年 4 月 1 日	自治医科大学附属さいたま医療センター医療連携協力施設に 認定される

2019（令和元）年10月1日	株式会社ヒシヌママシナリーの産業医となる
2020（令和2）年4月22日	埼玉県保健医療部整備課より新型コロナウイルス感染症患者受入れに係る「重点医療機関」の指定を受ける
2020（令和2）年4月25日	3階病棟アコーディオンカーテン設置（感染対策）
2020（令和2）年5月11日～12日	新型コロナウイルス軽症患者受入れ体制実施（4床）
2020（令和2）年6月12日	日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設となる
2020（令和2）年8月10日	検体検査室増設（検査科）
2020（令和2）年8月17日	院内PCR検査開始
2020（令和2）年9月1日	新型コロナウイルス中等症患者受入れ体制実施（5床）
2020（令和2）年10月15日	「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」に基づく埼玉県指定診療・検査医療機関に指定される
2021（令和3）年3月9日	社会福祉法人常磐福祉会（常磐苑）の産業医となる
2021（令和3）年4月1日	透析感染症患者受入個室2床開設・1床増床（計28床）
2021（令和3）年9月1日	日本医療機能評価機構 病院機能評価認定更新
2021（令和3）年10月6日	ピロティ陰圧ルーム設置
2021（令和3）年10月21日	コロナ病棟閉鎖（7床）（重点医療機関の指定解除）
2021（令和3）年11月22日	一般病棟として受入開始
2021（令和3）年11月26・27日	第2透析室1床増床（計29床）
2021（令和3）年12月8日	日本医療機能評価機構 病院機能評価受審・更新（2回目）
2022（令和4）年3月18日	第1透析室でもOn-Line透析開始（第1.2共に可能となる）
2022（令和4）年3月18日	鋤柄院長 第10回 日本医師会 赤ひげ大賞受賞
2022（令和4）年3月31日	「持ち分無し医療法人」へ移行する
2022（令和4）年4月1日	比企地区二次救急病院群輪番制のうち金曜日を担当
2022（令和4）年10月19日	社会福祉法人あけぼの学園の学校医となる
2023（令和5）年3月18日	LDL吸着療法開始
2023（令和5）年3月31日	院長就任式（初代鋤柄院長から狩野院長へ）

会議・委員会一覧

医療法人社団シャローム運営会議
 三頭会議
 拡大経営会議
 医療安全管理委員会
 セーフティーマネージャー委員会
 院内感染対策委員会
 院内感染対策チーム委員会
 医療事故調査委員会
 医療ガス安全管理委員会
 褥瘡対策委員会
 栄養管理委員会
 緩和ケア運営委員会
 暖和室シャローム運営検討委員会
 がんリハビリコーディネーター会議
 薬事委員会
 輸血委員会
 医療の質向上委員会

救急検討委員会
 診療情報管理委員会 / コーディング委員会
 診療情報記録委員会
 倫理委員会
 虐待・暴力対策委員会
 衛生委員会
 病院勤務医の負担軽減及び処遇改善会議
 看護職員の負担軽減及び処遇改善会議
 サービス向上委員会
 ボランティア活動検討委員会
 災害対策委員会
 医療機器管理安全管理委員会
 院内教育委員会
 広報委員会
 物品管理委員会
 ユニフォーム委員会

職員院内教育・研修の開催

院内教育委員会を中心に、年間を通して様々な勉強会を実施した。今年度は毎年開催している項目に加え、職員の能力開発として管理者育成のための研修や、当院主催の在宅緩和ケアに関する研修会を実施した。

内 容	件数	内 容	件数
医療安全研修会	2	虐待・暴力対策研修会	4
院内感染対策研修会	2	医療の質向上のための研修	5
褥瘡研修会	1	外部 緩和ケアに関する研修	11
個人情報保護研修会	1	外部学会発表・講演	9
倫理研修会	1	シャローム病院主催 地域研修・講演会	1
接遇研修会	1	その他外部主催研修会等への参加	13
運営・管理者・経営・リーダー研修	1	部署内で行われた研修会、自主研修など	9

地域医療・活動への参加

【嘱託医】

区 分	法 人 名	所 在 地	期 間 等
産業医	東京農大第三高校・付属中学校	東松山市	2007(平成19)年4月1日～
	株式会社 正木製作所	東松山市	2004(平成16)年1月1日～
	社会福祉法人えがりて 吹上苑	鴻巣市	2004(平成16)年4月1日～
	電成興業株式会社	東松山市	2006(平成18)年4月1日～
	株式会社ヒシヌママシナリー	嵐山町	2019(令和元)年10月1日～
	社会福祉法人常磐福祉会	吉見町	2021(令和3)年3月9日～
学校医	東京農大第三高校・付属中学校	東松山市	2007(平成19)年4月1日～
	かめめ保育園	滑川町	2020(令和2)年7月13日～
	社会福祉法人あけぼの学園 (のもと保育園・あつぷる幼児園・ あびつくこども園・あけぼの幼児園)	毛呂山町	2022(令和4)年10月19日～
嘱託医	東松山ホーム	東松山市	2004(平成16)年4月1日～
	社会福祉法人えがりて 吹上苑	鴻巣市	2002(平成14)年4月1日～
	シャロームガーデン坂戸	坂戸市	2011(平成23)年8月1日～
	社会福祉法人常磐福祉会 常磐苑	吉見町	2021(令和3)年3月9日～
	上記他 11 施設と嘱託医・医療協力機関として契約中		

【医師会活動や各種協議会への参加】 2022年度担当

団体名	担当内容	担当者
比企医師会	地域包括ケアシステム担当理事 ・介護保険関係 ・リハビリ関係 ・在宅医療関係	鋤柄 稔 院長
	災害医療担当理事	
	がん集団検診医会担当理事 (肝がん)	
	在宅医療検討委員会委員長	
比企地区救急医療対策協議会	委員	
比企広域 介護認定審査会	委員	
比企地区在宅医療・介護連携推進協議会	委員	
東松山市介護保険運営協議委員会	委員	
埼玉医科大学医学部	客員教授 (地域医療)	
埼玉県保健医療部医療整備課 ACP 普及啓発講師人材バンク	登録講師	狩野 契 副院長
団体名	担当内容	担当者
東松山市就学相談調整会議	委員	中村 小百合 医師
東松山市医療・福祉連携プロジェクト会議	委員	
滑川町医療的ケア児等支援連絡会議	委員	
埼玉県医師会 がん検診医会大腸がん検診委員	委員	小澤 修太郎 医師
日本外科系連合学会	評議員	
東松山地区安全運転管理者協会	理事	長谷部 真一 総務課長

【地域の検診実施】

<市町村> 東松山市・吉見町・川島町・滑川町・嵐山町・鳩山町・ときがわ町・小川町・東秩父村

<内 容> 乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス・結核・一般健診

乳幼児健診・認知症検診・人間ドック

【市町村の各種健診実施人数】

乳がん	大腸がん	胃がん	肺がん	前立腺がん	肝炎ウイルス	結核	一般健診
728	339	400	124	119	26	191	2

認知症	人間ドック
68	241

【院外での検診】

項目	内容	担当者
各種検診	乳がん検診（東松山市）	藤内 伸子 医師 鋤柄 稔 院長
	乳幼児健診（東松山市）	中村 小百合 医師

【新型コロナウイルス関連】

<検査件数>

	院外（外注）PCR	院内PCR	抗原検査
2020年度	1033	274	8
2021年度	3714	679	0
2022年度	3052	990	0

<当院による新型コロナワクチン接種>

区分	接種回数		
	2020年度	2021年度	2022年度
医療従事者(自院)	220	297	315
医療従事者(他院)	1138	2410	485
地域住民	1070	3123	2476
高齢者施設	1291	4098	1268
在宅(自宅)	270	672	302
入院	277	14	18
その他	25	118	540
合計	4291	10732	5404

<地域での新型コロナワクチン接種への協力>

集団接種会場	医師派遣回数
東松山（市民活動センター）	20
吉見町（吉見町民会館）	6
川島町（川島町民会館）	5
嵐山町（ふれあい交流センター）	3
滑川町（滑川町総合体育館）	22
鳩山町（地域包括ケアセンター）	2
小川町（小川町総合福祉センターパトリアおがわ）	3
派遣回数合計	61

認定看護師の活動

患者さんとご家族により良い看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めている。

分 類	人 数	所 属
緩和ケア認定看護師	1名	緩和ケア病棟
がん性疼痛認定看護師	1名	一般病棟

【同行訪問】

「緩和ケア認定看護師」が担当の訪問看護師に同行してお宅を訪問し、療養のサポートをしている。

同行訪問地域	件数	担 当
鴻巣市	2	片山和美 緩和ケア認定看護師
北本市	1	
合計（2022年度）	3	

【緩和ケア相談等】

「緩和ケア認定看護師」が、患者さん・ご家族のお悩みや心配事、疑問などを伺い、不安な気持ちに寄り添っている。下記の他にも訪問看護ステーションや薬局からの相談電話が多数あり、随時対応している。

相談分類	件数	担 当
外来相談	3	片山和美 緩和ケア認定看護師
外来からのコンサルテーション	10	
遺族ケア	1	
その他相談	48	
合計（2022年度）	62	

研修や指導への取り組み

【研修施設の認定】

- ・臨床研修協力施設(厚生労働大臣認定)
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・埼玉医科大学病院臨床研修協力施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター臨床研修協力施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設

【研修受入れ実績】

	所属	期間	人数
中学生	東松山市立東中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/
	東松山市立北中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/
	東京農業大学第三高等学校附属中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/
看護学生	埼玉医科大学 保健医療部 看護学科 実践応用の看護学実習	コロナ禍の影響により中止	/
	埼玉医療福祉会看護専門学校 訪看	2022年5月～7月	計6名
看護師	埼玉医科大学病院	2023年2月	4名
聖書学院	東京聖書学院(教員・学生)	コロナ禍の影響により中止	/
医大生	埼玉医科大学医学部4年生	2022年10月4日～6日	1名
	埼玉医科大学医学部6年生	2022年5月～6月	計2名
	メキシコより国際留学生	2022年9月(後半)	1名
研修医	埼玉医科大学病院(研修医)	2022年11月～2023年1月	計3名
障がい者雇用	雇用に向けた職場実習 総務課	2022年3月28日～4月8日	1名

教育・啓発活動

講演等

鋤柄 稔 院長

【講師】

授業科目「がん看護学演習Ⅱ」
埼玉医科大学保健医療学部 ※コロナの為中止

【講師】

令和4年度慢性腎臓病（CKD）予防教室「CKDって何？病気について知ろう！！」
吉見町保健センター 2022年10月13日（木）13:30～15:30

【講話】

第139回きらめきサロン幸町「コロナ禍での生活は、健康を保つには」
幸町集会所 2023年2月10日（金）10:00～

【講演座長】

疼痛緩和ケア Web セミナー
「がん患者の生活をさせる疼痛緩和～在宅への移行を考慮したがん疼痛の薬物療法～」
2023年3月9日（木）19:00～20:00 オンライン開催

狩野 契 医師

【ファシリテーター】

令和4年度人生の最終段階における医療体制整備事業
「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」
2022年10月16日 オンライン開催

【講演】

令和4年度埼玉県「ACP普及啓発講師人材バンク登録制度」事業
「あなたの思い、託せる人に伝えてみませんか～最期のときまであなたらしく生きるために～」
①2022年10月18日 川島町役場 参加者：40名
②2023年1月17日 コミュニティサロン八幡 参加者：23名

【講演】

在宅緩和ケア オンライン講演会 シャローム病院主催 比企医師会共催
「希望を支える緩和ケア～多職種で叶えた在宅看取り～」
2023年3月31日 当院3F研修室にてオンライン配信
演者：副院長 狩野契、緩和ケア認定看護師 片山和美、医療福祉相談員 塚田明美、
ケアマネージャー 高橋宣年、訪問看護師 本田美紀（東松山医師会訪問看護
ステーション）、薬剤師 一之瀬裕子（いつき薬局）

小澤 修太郎 医師

【講演座長】

第 32 回 埼玉県大腸がん検診セミナー「コロナ禍における大腸がんの診断と治療」
2023 年 1 月 28 日 埼玉県県民健康センター2 階大ホール及び Web 配信

加藤 修一 医師

【講演座長】

在宅緩和ケア Web セミナー「在宅緩和ケアの経験を活かして～” 通う緩和” の関わり～」
2022 年 10 月 13 日 (木) 19:00～20:35 オンライン開催

【講演】

熊谷・比企緩和医療連携セミナー「地域医療における緩和ケア：シャローム方式」
2022 年 12 月 15 日 (木) 19:00～20:30 オンライン開催

【講演】

在宅医療連携 Seminar「地域医療における緩和ケア：シャローム方式」
2023 年 3 月 15 日 (水) 19:30～21:00 オンライン開催

片山 和美 看護師長 ※緩和ケア認定看護師

【講師】

「意思決定支援と家族ケア」

2023 年 3 月 23 日 (木) 14:30～15:30 上福岡総合病院

【講演】

在宅緩和ケア オンライン講演会 シャローム病院主催 比企医師会共催

「希望を支える緩和ケア～多職種で叶えた在宅看取り～」

2023 年 3 月 31 日 当院 3F 研修室にてオンライン配信

演者：副院長 狩野契、緩和ケア認定看護師 片山和美、医療福祉相談員 塚田明美、
ケアマネージャー 高橋宣年、訪問看護師 本田美紀（東松山医師会訪問看護
ステーション）、薬剤師 一之瀬裕子（いつき薬局）

相良 君映 看護師 ※がん性疼痛看護認定看護師

【講師】

特別講座「ターミナルケア」

2022 年 12 月 12 日 (月) 9:05～12:15

東京都立城南職業能力開発センター（介護サービス科）

塚田 明美 社会福祉士

【講演】

在宅緩和ケア オンライン講演会 シャローム病院主催 比企医師会共催

「希望を支える緩和ケア～多職種で叶えた在宅看取り～」

2023 年 3 月 31 日 当院 3F 研修室にてオンライン配信

演者：副院長 狩野契、緩和ケア認定看護師 片山和美、医療福祉相談員 塚田明美、
ケアマネージャー 高橋宣年、訪問看護師 本田美紀（東松山医師会訪問看護
ステーション）、薬剤師 一之瀬裕子（いつき薬局）

高橋 宣年 ケアマネージャー

【講演】

在宅緩和ケア オンライン講演会 シャローム病院主催 比企医師会共催

「希望を支える緩和ケア～多職種で叶えた在宅看取り～」

2023年3月31日 当院3F研修室にてオンライン配信

演者：副院長 狩野契、緩和ケア認定看護師 片山和美、医療福祉相談員 塚田明美、
ケアマネージャー 高橋宣年、訪問看護師 本田美紀（東松山医師会訪問看護
ステーション）、薬剤師 一之瀬裕子（いつき薬局）

堀之内 豊 チャプレン

【講師】

授業科目「がん看護学演習Ⅱ」

埼玉医科大学保健医療学部 ※コロナの為中止

論文・学会発表等

鋤柄 稔 院長

【学会発表】

「ACPを念頭に置いた当院のForgo」

第50回埼玉透析医学会 2022年11月6日（日）ウエスタ川越

小澤 修太郎 医師

【論文】

「コロナ禍における大腸内視鏡撮影画像枚数とADR（腺腫発見率）についての検討」

小澤修太郎 金子仁人 山下啓史 鋤柄稔

埼玉県医学会雑誌 第57巻 第2号 P.431-435 2023年3月

【学会発表】

「コロナ禍における大腸内視鏡精度管理指標としての撮影画像枚数の検討」

小澤修太郎 金子仁人 狩野契 中井希 江森愛子 早船恭子 澤田友紀 田中宮子 川崎美夏子
斎藤美奈子 鋤柄稔

第77回 日本大腸肛門病学会 幕張メッセおよびWeb配信 2022年10月14日

加藤 修一 医師

【学会発表】

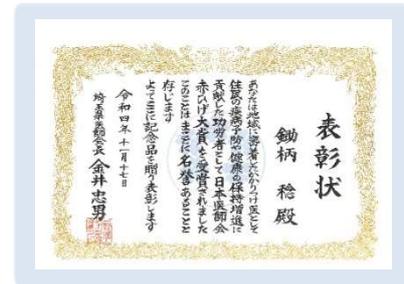
「地域医療から見る神経難病のEOLケア：シャローム方式」

第27回日本緩和医療学会学術大会 シンポジウム8「神経難病のEOLケア：全人的苦痛の緩和に
焦点を当てて」2022年7月1日（金）、2日（土） 神戸国際展示場およびWeb配信

県や地域からの表彰

鋤柄 稔 院長

地域に密着したかかりつけ医として住民の疾病予防や健康の保持増進に貢献した功労者として日本医師会「赤ひげ大賞」を受賞したことは、まことに名誉であると埼玉県医師会より表彰された。(2022年11月17日)



長谷部 真一 総務課長

安全運転管理者として、安全運転管理を積極的に推進し、交通事故防止に多大な貢献をしたことを、埼玉県警本部および東松山地区安全運転管理者協会に表彰された。(2022年5月20日)



院内行事・イベントなどの記録

◆開院記念のお祝い（食事中止）

2022年4月1日



◆チャリティバザー

2022年10月26日



◆全体災害シミュレーション 2022年12月10日



◆クリスマス・キャロリング 2022年12月21日



◆災害訓練 2023年2月9日



◆フィードバック報告会 2023年2月10日



◆院長就任式 2023年3月31日



臨床指標

臨床指標（クリニカルインディケーター）とは



医療の質を数で表し評価する指標のことです。
病院全体の指標や当院の特色を踏まえた独自の指標を設定・分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんに分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

病院全体に関する指標

外来患者実績

- ・初診外来患者数 初診料を算定した患者数を示しています。
- ・延外来患者数 外来を受審された患者数を示しています。
- ・1日平均患者数 1日平均何人の患者さんが外来受診されたか示しています。

$$\text{1日平均患者数(人)} = \frac{\text{延外来患者数}}{\text{外来日数}}$$

単位:人

		内科	緩和ケア科	皮膚科	乳腺科	小児科	循環器科	神経内科
初診外来患者数	2020年度	9360	159	3144	687	797	36	31
	2021年度	8318	154	2998	797	916	31	20
	2022年度	9202	165	2474	536	736	26	13
延外来患者数	2020年度	52874	1023	14187	1746	2758	1424	531
	2021年度	57515	1005	13434	1713	3957	1432	889
	2022年度	60264	1052	13570	1695	3937	1217	956
1日平均患者数	2020年度	181	7	60	10	11	15	11
	2021年度	196	7	57	10	14	14	18
	2022年度	205	7	57	9	15	27	20

		2020年度	2021年度	2022年度
合計	初診外来患者数	14214	13234	13152
	延外来患者数	74543	79945	82691
	1日平均患者数	295	316	340

透析患者実績

外来、入院で透析実施した数を示しています。

単位:人

	2020年度	2021年度	2022年度
外来患者数	11935	11537	10579
入院患者数	71	141	117
合計	12006	11678	10696

- ・HD (血液透析) 半透膜を介して血液と透析液を接触させ、拡散の原理によって不要な水分や老廃物を除去する方法です。
- ・online HDF offline HDF (血液ろ過透析) 大きなサイズの物質の除去に優れるHF(血液ろ過)と、小さなサイズの物質の除去に優れるHDの欠点を補うような特徴をもつ方法です。

単位:人

	2020年度	2021年度	2022年度
HD	11288	7898	312
online HDF	2	3498	10256
offline HDF	718	352	6
合計	12008	11748	10574

- ・CART
(腹水ろ過凝縮再静注法) 腹水をバックに取り出し、その後ろ過器を用いて細菌や癌細胞等を除去した後、濃縮器で除水を行い、アルブミン等の有用な物質を濃縮して再び体内に点滴で戻す方法です。
- ・PTA
(経皮的血管拡張術) 内シヤント血管の狭窄部に、風船のついたカテーテルを、挿入し、そこに生理食塩水を注入し膨らませることによって狭窄部を拡張する手術です。

単位：人

	2020年度	2021年度	2022年度
CART	25	7	8
PTA	36	39	33
合計	61	46	41

当院全体での看取り件数

当院医師が最期を看取った件数を示しています。

単位：人

		2020年度	2021年度	2022年度
悪性腫瘍	自宅	79	99	88
	施設	2	1	6
	当院	245	174	221
それ以外	自宅	15	26	29
	施設	45	66	63
	当院	23	22	65
合計		409	388	472

高齢者施設で往診し最期を看取った件数を示しています。

単位：人

	2020年度	2021年度	2022年度
東松山ホーム（東松山市）	10	9	7
吹上苑（鴻巣市）	30	26	33
シャロームガーデン坂戸（坂戸市）	6	8	9
常磐苑（吉見町）	1	12	13
その他施設	11	12	7
合計	58	67	69

手術件数

手術室で行われた件数と麻酔使用別の件数を示しています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
緊急手術	0	0	0
悪性腫瘍手術	0	0	0

麻酔別 単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔	0	1	3
腰椎麻酔	8	6	22
局所麻酔	7	7	11

手術項目別 単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
鼠径ヘルニア手術	8	5	18
腹壁癒痕ヘルニア	0	0	1
陰嚢水腫手術(その他)	0	0	1
ミリガン・モーガン手術 結紮術	0	1	0
内痔核根治術(PPH)	0	1	1
内痔核根治術(PPH以外)	0	0	4
痔瘻根治手術	1	0	0
中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	1	0	0
中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	0	0	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm以上6cm未満)	1	1	0
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm未満)	0	3	6
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径4cm以上)	0	1	0
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm以上4cm未満)	1	0	0
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm未満)	0	1	4
乳腺腫瘍摘出術(長径5cm未満)	2	1	0
鶏眼・胼胝切除術(露出部で縫合)(長径2cm未満)	1	0	0
合計	15	14	36

・クリニカルパス 手術を受けられる患者さんの手術過程を解りやすく時系列に沿って一覽にまとめた計画書の数を示しています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
鼠径ヘルニア手術	7	4	16
痔核手術	0	1	5
合計	7	5	21

・24時間以内の再手術率

手術終了後24時間以内に再手術を実施した割合を示しています。

$$\text{24時間以内の再手術率(\%)} = \frac{\text{24時間以内の予定外再手術件数}}{\text{総手術件数}}$$

・術後の肺塞栓発生率

術後に肺塞栓症(血栓が肺動脈に詰まり、呼吸困難や胸痛を引き起こす疾患)を発症してしまった患者さんの割合を示しています。

$$\text{術後の肺塞栓発生率(\%)} = \frac{\text{術後肺塞栓発生件数}}{\text{手術を受けた退院患者数}}$$

・手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率

手術部位感染を予防する対策の一つとして手術前後の抗菌薬投与があり、このため手術開始1時間以内に適切な抗菌薬を投与した割合を示しています。

$$\text{手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率(\%)} = \frac{\left[\text{手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与された退院患者数} \right]}{\text{手術を受けた退院患者数}}$$

・クリニカルパス使用率

パスが適用された割合を示しています。

$$\text{クリニカルパス使用率(\%)} = \frac{\text{クリニカルパスを使用した外科退院患者数}}{\text{手術を受けた退院患者数}}$$

単位：%

	2021年度	2022年度
24時間以内の再手術率	0	0
術後の肺梗塞発生率	0	0
手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率	100	100
クリニカルパス使用率	71	66

※2021年度より実施

入院患者実績

- ・在院患者延数 年間の24時現在の患者さんの数を示しています。
- ・新入院患者数 年間の入院した患者さんの数を示しています。
- ・退院患者数 年間の退院した患者さんの数を示しています。
- ・平均在院日数 入院してから退院するまでの期間が平均で何日かを示しています。

$$\text{平均在院日数(日)} = \frac{\text{年間在院患者延数}}{(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}) \div 2}$$

- ・予定入院患者数 他院からの転院や手術等の予約をして入院した年間の患者数を示しています。
- ・緊急入院患者数 救急搬送されての入院や外来診療時に処置等が必要で緊急入院した年間の患者数を示しています。
- ・病床利用率 病床がどの程度、効率的に稼働しているかを示しています。

$$\text{病床利用率(\%)} = \frac{\text{年間在院患者延数}}{\text{年間病床延数}} \times 100$$

- ・病床稼働率 運用病床に対して患者さんがどのくらいの割合で入院しているかを示しています。

$$\text{病床稼働率(\%)} = \frac{\text{年間患者延数} + \text{退院患者数}}{\text{年間病床延数}} \times 100$$

- ・在宅復帰率 当該病棟においての在宅復帰率を示しています。

$$\text{在宅復帰率(\%)} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{該当する病棟から、自宅又は自宅以外の居宅へ} \\ \text{退院した患者数} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{退院患者のうち、死亡退院・転棟・再入院患者を} \\ \text{除いた患者数} \end{array} \right)} \times 100$$

- ・死亡率 病院内で死亡する患者さんの割合を示しています。

$$\text{死亡率(\%)} = \frac{\text{死亡退院患者数}}{\text{年間退院患者数}} \times 100$$

		2020年度	2021年度	2022年度
在院患者延数(人)	一般病棟	3152	2445	6207
	緩和ケア病棟	8556	7474	6591
新入院患者数(人)	一般病棟	278	230	462
	緩和ケア病棟	320	281	262
退院患者数(人)	一般病棟	292	222	452
	緩和ケア病棟	316	287	261
平均在院日数(日)	一般病棟	12	11	14
	緩和ケア病棟	28	27	25
予定入院患者数(人)	一般病棟	110	69	192
	緩和ケア病棟	170	149	105
緊急入院患者数(人)	一般病棟	168	157	271
	緩和ケア病棟	111	120	97
病床利用率(%)	一般病棟	35	27	68
	緩和ケア病棟	78	68	60
病床稼働率(%)	一般病棟	38	29	73
	緩和ケア病棟	71	71	63
在宅復帰率(%)	一般病棟	71	79.3	82.8
	緩和ケア病棟	90	94.0	87.1
死亡率(%)	一般病棟	16	12.6	23.2
	緩和ケア病棟	17	55.7	64.8

2週間以内の退院サマリー作成率

- ・退院サマリー 入院経過や検査所見など入院中の治療内容を簡潔にまとめたもので、退院後速やかに作成されるものです。

$$\text{退院サマリー作成率(\%)} = \frac{\left(\begin{array}{c} \text{退院後2週間以内に退院サマリーが} \\ \text{作成された件数} \end{array} \right)}{\text{退院患者数}} \times 100$$

単位: %

		2020年度	2021年度	2022年度
医師	一般病棟	94	96	84
	緩和ケア病棟	82	81	80
看護師	一般病棟	99	99	95
	緩和ケア病棟	85	91	79

内視鏡件数

胃カメラ、大腸カメラの件数を示しています。

単位: 件

		2020年度	2021年度	2022年度
上部内視鏡検査	件数	1183	1296	1366
	うち経鼻	1083	1162	1227
下部内視鏡検査	件数	378	366	388
内視鏡 合計		1561	1662	1754

治療目的内訳 単位:件

	2020年度	2021年度	2022年度
ポリープ切除術	14	14	91
粘膜切除	59	84	48
粘膜下層切開剥離	0	0	0
胃瘻造設術	1	0	0
止血術	9	11	10
異物除去	0	0	0
治療目的 合計	83	109	149

褥瘡件数

・褥瘡 寝たきりなどによって、同じ場所にずっと体重がかかり圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚が損傷することです。

・発生率 院内で新規に(d2以上の)褥瘡発生した割合を示しています。

$$\text{発生率(\%)} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{d2(真皮までの損傷)以上の} \\ \text{院内新規褥瘡発生患者数} \end{array} \right)}{\text{入院患者延数}} \times 100$$

・保有率 入院している患者の中に褥瘡を保有している割合を示しています。

$$\text{保有率(\%)} = \frac{\text{保有する患者数}}{\text{入院患者数}} \times 100$$

※持ち込みの褥瘡を除外する。

- ①入院時すでに褥瘡保有が記録されていた患者の入院日数は除外する。
- ②計測対象期間より前に褥瘡の院内発生が確認され、継続して入院している患者の入院日数は除外する。
- ③入院時刻から24時間以内に発生した褥瘡は院内発生とみなさない
- ④日帰り入院患者、同日入退院患者は除外する

(分母)上記①～④は除外する

(分子)院内新規褥瘡があった患者を抽出する。

DESIGN-R2020のd2(真皮までの損傷)以上の患者を分子とする。

計測対象期間中に再発や異なる部位に発生した場合でも1とカウントする。

単位:%

	2022年度
発生率	0.4
保有率	14.5

※2022年度より、医療の質可視化プロジェクトと同じ集計方法に変更

リハビリテーション患者実績

理学療法士、作業療法士が行った年間のリハビリテーション新規・終了患者数、算定別数を示しています。

単位：人

		2020年度	2021年度	2022年度
新規患者数	全体	255	242	420
	うち緩和ケア病棟	186	164	188
終了患者数	全体	253	250	424
	うち緩和ケア病棟	184	175	189

算定別(1単位=20分)

		2020年度	2021年度	2022年度
脳血管疾患	延人数(人)	168	209	242
	延単位数(単位)	346	464	448
廃用症候群	延人数(人)	306	200	600
	延単位数(単位)	576	403	868
運動器	延人数(人)	36	39	85
	延単位数(単位)	97	99	134
呼吸器	延人数(人)	334	373	342
	延単位数(単位)	565	706	497
がん	延人数(人)	270	267	751
	延単位数(単位)	500	491	1291
緩和ケア病棟	延人数(人)	3624	2901	2820
	延単位数(単位)	7234	5966	4514

栄養指導件数

糖尿病・腎臓病・心臓病・高脂血症・高血圧・肝臓病などの日々の食事について管理栄養士が指導した数を示しています。

単位：件

		2020年度	2021年度	2022年度
栄養指導	外来	28	42	23
	入院	0	0	0
	訪問	0	0	0
合計		28	42	23

カルテ開示件数

診療の過程で得られた、患者さんの身体状況、病状、治療等の情報をカルテ等での開示で提供した数を示しています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
開示件数	2	5	5

検診件数

市町村で行われている各検診の数を示しています。

単位：件

	乳がん	大腸がん	胃がん	肺がん	前立腺がん	肝炎ウイルス	結核	一般健診
東松山市								
2020年度	389	115	109	-	-	-	-	-
2021年度	367	98	98	-	-	-	-	-
2022年度	357	96	140	-	-	-	-	-
吉見町								
2020年度	156	145	128	43	64	8	-	1
2021年度	158	136	130	31	69	12	197	-
2022年度	156	170	173	49	83	19	191	-
川島町								
2020年度	17	46	37	51	22	8	-	1
2021年度	18	41	40	48	24	3	-	2
2022年度	30	68	61	70	36	7	-	2
滑川町								
2020年度	100	-	23	-	-	-	-	-
2021年度	106	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	115	-	15	-	-	-	-	-
嵐山町								
2020年度	18	4	9	4	-	-	-	-
2021年度	15	4	3	7	-	-	-	-
2022年度	31	5	9	5	-	-	-	-
鳩山町								
2020年度	13	-	-	-	-	-	-	-
2021年度	5	-	2	-	-	-	-	-
2022年度	14	-	2	-	-	-	-	-
ときがわ町								
2020年度	11	-	-	-	-	-	-	-
2021年度	15	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	18	-	-	-	-	-	-	-
小川町								
2020年度	4	-	-	-	-	-	-	-
2021年度	9	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	2	-	-	-	-	-	-	-
東秩父村								
2020年度	5	-	-	-	-	-	-	-
2021年度	3	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	5	-	-	-	-	-	-	-
合計								
2020年度	713	310	306	98	86	16	0	2
2021年度	696	279	273	86	93	15	197	2
2022年度	728	339	400	124	119	26	191	2

※「-」は実施無し

市町村で行われている認知症検診の数を示しています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
東松山市	49	34	40
吉見町	10	18	18
鳩山町	0	0	1
小川町	0	0	0
川島町	-	-	9
合計	59	52	68

人間ドックの数を示しています。

単位：件

	件数(うち助成金使用)					
	2020年度		2021年度		2022年度	
東松山市	139	(123)	153	(131)	174	(158)
吉見町	33	(28)	43	(32)	35	(27)
川島町	9		16	(16)	19	(19)
滑川町	4		4		3	
嵐山町	0		1		0	
鳩山町	2		2		2	
ときがわ町	0		0		0	
小川町	1		2		0	
東秩父村	0		0		0	
その他市町村	3		9		8	
合計	191	(151)	230	(179)	241	(204)

救急医療に関する指標

第二次救急告示病院(救急指定病院)として救急搬送の受入を行っています。

- ・受入 救急搬送受入の数を示しています。
- ・一時受入 一時受入の数を示しています。
- ・不可 救急搬送不可の数を示しています。
- ・応需率 救急搬送の受入率を示しています。

$$\text{応需率(\%)} = \frac{\text{受入数}}{\text{救急要請数}} \times 100$$

	2020年度	2021年度	2022年度
受入(件)	225	239	352
一時受入(件)	9	3	6
不可(件)	171	192	240
応需率(%)	56.8	55.5	59.5

入院緩和ケアに関する指標

緩和ケアとは、病によって窮地に立つ患者さんとご家族が、一日一日を心穏やかに過ごし、人生という旅路を平安に生き抜くことを支えるケアです。

人間としての尊厳を保ち、身体の苦痛をやわらげ、心の苦しみと悲しみを共に担い、喜びあるいのちを大切にします。

・平均年齢

該当病棟入院患者さんの平均年齢を示しています。

単位：歳

	2020年度	2021年度	2022年度
平均年齢	72	73	75

・悪性腫瘍臓器別分類

当該病棟において、がん罹患数を臓器別で分けた数を示しています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度		2020年度	2021年度	2022年度
胃	40	25	40	歯肉	2	2	0
肺	56	50	80	舌	3	3	1
食道	9	9	11	皮膚	3	3	0
膵臓	42	35	40	外耳道	2	3	0
肝臓	19	7	19	外陰	1	0	3
胆管	8	13	19	陰茎	1	0	0
胆のう	5	4	10	尿管	2	2	1
腎臓	8	3	10	骨髄	1	0	0
膀胱	3	15	1	悪性リンパ腫	7	8	2
結腸	36	18	39	軟部組織	3	0	17
直腸	21	20	42	脳	5	0	3
十二指腸	6	4	9	咽頭	10	5	20
盲腸	4	2	4	喉頭	2	0	0
虫垂	1	0	0	口腔	0	3	4
前立腺	12	8	9	肛門	0	2	1
甲状腺	8	2	1	胸膜	0	2	2
腹膜	1	2	3	腹膜	0	0	1
乳房	29	27	26	腎盂	0	1	1
子宮	15	11	18	上顎	0	0	1
卵管	0	1	0	口蓋	0	0	1
皮膚	0	0	3	声門	0	0	1
耳下腺	0	0	1	白血病	0	0	1
顎下腺	0	0	4	原発不明	9	2	3
卵巣	25	17	14	合計	399	309	466

在宅医療に関する指標

当院は、在宅療養支援病院として、患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、求めに応じ24時間在宅医療が可能な体制を確保し、緊急時に在宅で療養を行っている患者さんが直ちに入院できるなど、必要に応じた医療を提供できる病院です。

訪問診療、往診を行った回数を示しています。

- ・訪問診療 通院困難な患者さんのご自宅等に、医師が定期的に訪問診察することです。必要に応じて臨時往診や入院先の手配などを行います。
- ・往診 患者さんからの依頼に基づき、急変時・緊急時に自宅を訪問し、診察することです。

単位:回

	2020年度	2021年度	2022年度
総数	2383	2785	3146
訪問診療	1891	2203	2514
往診	492	582	632
うち緊急	150	199	198

- ・在宅医療看取り 訪問診療・往診を行っている患者さんの看取り件数を示しています。

単位:人

		2020年度	2021年度	2022年度
看取り数	自宅	92	123	116
	施設	43	45	33
	当院	118	95	137
	他院	28	36	30
合計		281	299	316

※在宅療養支援病院に係わる報告書をもとに算出

自宅で看取りを行った地域を示しています。

単位:人

	2020年度	2021年度	2022年度		2020年度	2021年度	2022年度
東松山市	36	39	40	寄居町	0	1	2
鳩山町	7	5	6	鴻巣市	10	8	16
吉見町	5	12	10	坂戸市	3	3	4
嵐山町	3	6	5	鶴ヶ島市	0	2	1
滑川町	3	3	3	行田市	0	5	3
小川町	4	7	7	北本市	0	1	0
東秩父村	1	0	0	越生町	0	1	2
川島町	4	14	11	加須市	1	0	0
ときがわ町	1	0	2	深谷市	1	0	0
川越市	2	2	1	毛呂山町	1	0	1
熊谷市	12	16	3	合計	94	125	117

・連携訪問看護ステーション市町村別事業所数

単位:事業所

	2020年度	2021年度	2022年度		2020年度	2021年度	2022年度
東松山市	9	9	9	鶴ヶ島市	2	1	2
行田市	4	4	6	北本市	1	2	1
鳩山町	1	1	1	寄居町	1	1	0
嵐山町	1	1	1	川越市	4	1	3
小川町	2	2	2	熊谷市	4	4	5
鴻巣市	4	5	4	ときがわ町	0	1	0
毛呂山町	1	1	1	深谷市	2	2	2
坂戸市	4	2	4	加須市	1	1	1
狭山市	1	1	2	川島町	3	3	3
所沢市	1	0	0	日高市	0	0	2
				合計	46	42	49

・主な訪問診療地域 東松山市 吉見町 川島町 滑川町 鳩山町 嵐山町 寄居町
ときがわ町 小川町 坂戸市 熊谷市 鴻巣市

地域連携に関する指標

- ・紹介率 他の医療機関から紹介状を持参された人の割合を示しています。

$$\text{紹介率(\%)} = \frac{(\text{紹介患者数} + \text{救急患者数})}{\text{初診患者数}} \times 100$$

- ・逆紹介率 当院から他の医療機関へ紹介した人の割合を示しています。

$$\text{逆紹介率(\%)} = \frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100$$

	2020年度	2021年度	2022年度
紹介患者数(人)	788	732	765
救急患者数(人)	231	207	355
初診患者数(人)	11871	12854	12969
紹介率(\%)	8.6	7.3	8.6

	2020年度	2021年度	2022年度
逆紹介患者数(人)	1364	1375	1550
初診患者数(人)	11871	12854	12969
逆紹介率(\%)	11.5	10.7	12.0

- ・広報誌発行 当院の医療サービスや取り組み、実績などの情報を患者さんや地域の医療機関等へ発信しています。

	2020年度	2021年度	2022年度
発行回数(回)	4	4	4
広報誌発行部数(部)	2400	2700	2200
配布施設数(施設)	391	396	396

検査に関する指標

COVID-19のPCR検査を外注・院内と行っています。

当院で検査した方の陽性率を示しています。

$$\text{陽性率(\%)} = \frac{\text{陽性者数}}{\text{検査人数}} \times 100$$

単位：件

		2020年度	2021年度	2022年度
COVID-19 検査	外注PCR(件)	1033	3714	3052
	院内PCR(件)	274	679	990
	抗原検査(件)	8	0	0
陽性者数(人)		47	721	2304
陽性率(%)		3.6	16.4	57.0

検査科で行っている各検査の数を示しています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
心電図	2064	2303	2617
腹部エコー	884	990	964
循環器エコー	439	637	796
表在エコー	1144	1068	1024
ホルター心電図	34	74	80
呼吸機能	206	247	240
聴力	356	404	403
眼底検査	194	227	236
眼圧検査	193	227	235
脈波	145	182	171
院内血液検査	1267	2043	2816
院内生化学検査	1150	2115	2343

単位：単位

	2020年度	2021年度	2022年度
交差適合試験	582	438	540

放射線科で行っている各検査の数を示しています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
一般撮影	3064	3293	3469
マンモグラフィー	1536	1482	1462
CT検査	1833	2051	2083
胃造影	47	43	45
大腸造影	3	4	7
血管造影	41	38	34
他、造影	16	16	11
紹介用画像作成	488	527	479
遠隔画像診断	990	1295	1460

薬剤に関する指標

・薬剤管理指導

医師の同意に基づいて患者さんが薬を正しく使えるように、医師や看護師などと連携をとりながら、薬の効果、使い方、注意点などの説明を行っています。指導実施件数と内訳の数を示しています。

単位：件

		2020年度	2021年度	2022年度
薬剤管理指導	実施件数	444	423	614
内訳 (緩和病棟は除く)	管理指導1 ※1	2	18	36
	管理指導2 ※2	154	101	260
	麻薬	52	18	75
	退院	56	54	137

※1 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者の場合

※2 管理指導1の患者以外の場合

・ジェネリック使用率

当院の入院で使用される全薬剤のうち、ジェネリック(後発医薬品)が占める割合です。

$$\text{ジェネリック使用率(\%)} = \frac{\text{後発薬品の数量}}{(\text{後発薬品のある先発薬品の数量}) + (\text{後発薬品の数量})} \times 100$$

$$\text{カットオフ値(\%)} = \frac{(\text{後発医薬品} + \text{後発医薬品のある先発医薬品})}{\text{全ての医薬品}} \times 100$$

単位：%

	2020年度	2021年度	2022年度
ジェネリック使用率	91.2	85.12	90.3
カットオフ値	65.9	73.24	65.46

医療安全に関する指標

・安全のための報告書件数

院内で発生した医療事故等の報告をできる限り収集し、対策を講じることで、重大な医療事故の発生を防いでいます。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
報告書件数	620	474	575
医局	26	16	16
外来	90	67	52
緩和ケア病棟	217	173	124
一般病棟	50	53	153
透析	115	91	121
報告部署内訳			
手術	0	0	0
中材	0	0	0
救急外来	0	0	0
放射線	4	3	1
検査	1	3	0
リハビリ	6	10	7
薬剤	8	13	26
栄養	0	5	5
医事	22	16	27
訪問看護	75	23	43
その他	6	1	0

・転倒転落件数

病院全体での転倒転落の件数を示しています。

原因や要因について分析等を行い予防策を講じて、防いでいます。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
転倒転落件数	91	76	87
外来	1	1	0
緩和ケア病棟	78	50	33
発生部署内訳			
一般病棟	9	18	46
透析	0	3	3
放射線	1	2	0
リハビリ	1	2	3
訪問看護	1	0	2

・入院中の転倒転落発生率・転倒転落による骨折発生率

入院している患者さんの中には年齢や病気の影響により転倒したり、ベッドなどから転落したりする可能性が高い方もいます。

原因や要因について分析等を行い予防策を講じて、防いでいます。

$$\begin{aligned} \text{転倒転落発生率 (\%)} &= \frac{\text{入院中の転倒・転落件数}}{\text{入院延患者数}} \times 1000 \\ \text{転倒転落による骨折発生率 (\%)} &= \frac{\text{転倒転落件数による骨折件数}}{\text{入院延患者数}} \times 1000 \end{aligned}$$

		2020年度	2021年度	2022年度
入院延患者数(人)	緩和ケア病棟	9153	7758	6849
	一般病棟	3444	2662	6646
	病棟全体	12597	10420	13495
転倒・転落件数(件)	緩和ケア病棟	78	50	33
	一般病棟	9	18	46
	病棟全体	87	68	79
転倒転落発生率(%o)	緩和ケア病棟	8.5	6.4	4.8
	一般病棟	2.6	6.8	6.9
	病棟全体	6.9	6.5	5.9
転倒転落件数による骨折件数(件)	緩和ケア病棟	2	0	0
	一般病棟	0	0	1
	病棟全体	2	0	1
転倒転落による骨折発生率(%o)	緩和ケア病棟	0.2	0.0	0
	一般病棟	0.0	0.0	0.2
	病棟全体	0.2	0.0	0.07

・針刺し件数

院内で発生した針刺し事故の件数を示しています。

原因分析を行い、感染対策につなげています。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
針刺し件数	4	3	39

感染に関する指標

・抗菌薬使用量

抗菌薬の使用量が増えることで薬剤耐性菌が選択されてしまう可能性もあり、抗菌薬の使用量やよく使われている抗菌薬の種類を把握し適正に使用しています。

・AUD値: 抗菌薬使用密度。抗菌薬使用量の評価方法です。

$$\text{AUD値(g/日} \times 1000) = \frac{\text{抗菌薬使用量(g)} \div \text{DDD(g)}}{\text{在院患者延数(人)}} \times 1000$$

・DDD: 病院間での比較のため、抗菌薬使用量を標準化する目的で使用します。

	2022年度
在院患者延数(人)	12798

<2022年度>

抗菌薬種類	一般名(販売名)	DDD(g)	使用量(g)	AUD(g/日 × 1000)
ペニシリン系				38.88
	スルバクタム/アンピシリン	9	615	5.34
	ピペラシリン	14	14	0.08
	タゾバクタム/ピペラシリン	15.75	6745.5	33.47
セフェム系第1世代				2.72
	セファゾリン	1	104.5	2.72
セフェム系第2世代				4.34
	セフメタゾール	1	222	4.34
セフェム系第3世代				33.58
	セフトリアキソン	1	859.5	33.58
オキサセフェム系(第4世代)				0.00
カルバペネム系				2.68
	イミペネム/シラスタチン	0.5	34.5	1.35
	メロペネム	0.5	51	1.33
アミノグリコシド系				0.00
マクロライド系				0.00
テトラサイクリン系				4.14
	ミノサイクリン	0.1	10.6	4.14
ホスホマイシン系				0.00
グリコペプチド系				1.58
	バンコマイシン	0.5	40.5	1.58
ニューキノロン系				4.65
	レボフロキサシン	0.5	29.75	4.65
その他				0.00

・インフルエンザ予防接種率

患者さんへの感染を防ぐため、職員へのワクチン接種を行っています。

$$\text{接種率(\%)} = \frac{\text{インフルエンザワクチン接種済人数(人)}}{\text{職員数合計(人)}※} \times 100$$

※接種を希望しない理由書を提出している者は含めない

単位：人

	2021年度	2022年度
職員数合計	219	225
接種済	211	214
接種を希望しない理由書を提出している者	8	11

単位：%

	2021年度	2022年度
接種率	100	100

認定看護師に関する指標

・認定看護師

高度化し専門分化が進む医療現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

患者・家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。

・緩和ケア認定看護師同行訪問件数

緩和ケアを専門に学んだ「緩和ケア認定看護師」が、担当の訪問看護師に同行してお宅を訪問し、療養のサポートをします。

専門知識を生かして、最期まで患者さんがその人らしく生きることを応援します。

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
同行訪問件数	7	12	3
＜地域別件数＞			
東松山市	1	2	0
川島町	0	3	0
小川町	1	2	0
熊谷市	0	2	0
鴻巣市	1	3	2
鳩山町	2	0	0
川越市	1	0	0
行田市	1	0	0
北本市	1	0	1

・がん患者指導管理料

悪性腫瘍と診断された患者さんに対して

イ：医師が看護師と共同して診療方針等について話しあい文章等により提供を行った回数

ロ：医師又は看護師が心理的不安を軽減するための面接を行った件数

単位：件

	2020年度	2021年度	2022年度
指導管理料イ	0	0	0
指導管理料ロ	0	0	0

その他の指標

患者満足度

・満足度調査 ご意見箱投書件数

当院が提供するサービスに対して、患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの一層の充実を図るために実施しています。引き続き維持向上できるように努めていきます。

※2022年度は新型コロナウイルス感染症拡大の真っ只中にあり、予断を許さない状況であった為中止となりました。また、2021年度はコロナ禍における感染対策の為に小規模実施とし入院のみの実施となりました。

単位：人

	2021年度	2022年度
総計	28	-
うち緩和ケア病棟	5	-
うち一般病棟	23	-
<性別>		
男性	13	-
女性	13	-
未記入	2	-
<年齢>		
～20代	3	-
30～40代	13	-
50～60代	9	-
70代以上	2	-
未記入	1	-
<記入者>		
患者さん	24	-
ご家族	1	-
付き添い	0	-
その他	0	-
未記入	3	-

1.当院医師の患者さんへの対応について

1. 診察の内容

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	24	3	1	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

2. 十分に質問・理解

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	24	3	1	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

2. 看護師・介護職員の対応について

1. 言葉遣い

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	24	3	1	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

2. 質問に親切

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	24	3	1	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

3. 身だしなみ

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	25	3	0	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

4. 誠実で優しい対応

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	25	3	0	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

5. ナースコールしてからの時間

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	21	4	3	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

3. 施設・機能について

1. トイレ・洗面台・手洗い

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	24	1	2	0	0	1
2022年度	-	-	-	-	-	-

2. 病院内の案内表示

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	16	4	4	0	0	4
2022年度	-	-	-	-	-	-

3. 食事の献立の工夫

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	19	6	1	1	0	2
2022年度	-	-	-	-	-	-

4. 食事は美味しい

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	15	8	2	1	0	2
2022年度	-	-	-	-	-	-

5. 食事の配膳時間

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	23	4	0	0	0	1
2022年度	-	-	-	-	-	-

4. 情報提供について

1. 医師の治療の説明

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	26	1	1	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

2. 院内の表示

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	21	2	2	0	0	3
2022年度	-	-	-	-	-	-

3. 患者さんのプライバシー

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	24	3	1	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

5. 職員の患者さんへの対応・印象について

1. 事務職員

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	2	1	2	0	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

2. 医療福祉相談室

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	0	2	1	0	0	1	1
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

3. 管理栄養士

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	2	2	1	0	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

4. 薬剤師

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	0	0	3	0	0	1	1
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

5. リハビリ職員

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	2	2	1	0	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

6. 放射線技師

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	24	2	2	0	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

7. 検査技師

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	2	1	1	0	0	0	1
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

8. 工学技師

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	会っていない	未記入
2021年度	0	1	1	0	0	1	2
2022年度	-	-	-	-	-	-	-

6. 全体の印象について

1. 不満・疑問・要望

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	23	2	2	0	0	1
2022年度	-	-	-	-	-	-

2. 全体的な満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	未記入
2021年度	24	3	1	0	0	0
2022年度	-	-	-	-	-	-

職員満足度

・やりがい度調査

全17項目の内容で調査。「そう思う」または「やや思う」と回答した割合を示しています。

$$\text{「そう思う」「やや思う」と回答した割合 (\%)} = \frac{\text{「そう思う」「やや思う」と回答した人数(人)}}{\text{全回答者数(人)}} \times 100$$

	2020年度	2021年度	2022年度
回答者数(人)	156	172	108
配布人数(人)	235	231	230
回収率(%)	66	74	46.9

<2022年度>

単位:人 %

質問内容	人数	割合
職場の雰囲気や人間関係は良好だと思いますか？	77	71.3%
現在の仕事にやりがいがあると思いますか？	81	75.0%
現在の処遇条件(報酬や福利衛生)は満足だと思いますか？	34	31.5%
現在の勤務条件(休日や勤務時間)は満足だと思いますか？	73	67.6%
学習や成長の機会があると思いますか？	47	43.5%
精神的な不安を感じずに仕事ができると思いますか？	45	41.7%
仕事の成果や能力が適正に評価されていると思いますか？	40	37.1%
あなたの上司を信頼できると思いますか？	80	74.1%
これからも、この病院・施設で働きたいと思いますか？	74	68.5%
病院・施設として、知人にすすめようと思いますか？	65	60.2%

<2020年度、2021年度 ※質問内容は2022年度と異なる>

単位:人 %

質問内容	2020年度		2021年度	
	人数	割合	人数	割合
現在の仕事にやりがいを感じますか。	140	90%	150	87%
現在の仕事が自分に向いていると思いますか。	129	83%	135	78%
スキル・能力が身につく仕事だと思いますか。	134	86%	146	85%
現在の仕事に意義や価値を感じますか。	142	91%	147	85%
能力や仕事への姿勢、成果は正當に評価されていると思いますか。	119	76%	119	69%
悩み、要望を聞いてくれる上司や仲間が周りにいますか。	135	87%	144	84%
自分の業務が社会や病院のためになっていると感じますか。	141	90%	151	88%
職場の方針や業務の進め方の決定に参加する機会があると思いますか。	97	62%	103	60%
自由に意見や提案ができるなどみんなが協力し合う雰囲気があると思いますか。	121	78%	115	67%
ハラスメント(セクハラ・パワハラ)は許されないという認識が浸透していると思いますか。	106	68%	117	68%
職員に必要な情報が確実に伝えられていますか。	91	58%	104	60%
仕事内容や責任に見合った給与を受けていると思いますか。	102	65%	112	65%
現在の昇任の仕組みは適切なものだと思いますか。	82	53%	107	62%
有給休暇など、お休みは取得しやすいですか。	128	82%	138	80%
自身の人事異動(配置)に満足していますか。	128	82%	140	81%
福利厚生は充実していると思いますか。	72	46%	86	50%
これからもシャロームで働きたいですか。	135	87%	149	87%

・離職率

働きやすく、かつ定着を促進する環境づくりに努めています。
当院部署ごとの離職率を示しています。

	2020年度		2021年度		2022年度	
	離職率 (%)	退職者数(人) 職員数(人)	離職率 (%)	退職者数(人) 職員数(人)	離職率 (%)	退職者数(人) 職員数(人)
医師	9	1 11	9	1 11	0	0 11
看護師 常勤	16	11 69	10	6 62	6	4 65
看護師 非常勤	11	3 27	26	7 27	5	1 21
事務 常勤	4	1 28	18	6 34	6	2 34
事務 非常勤	11	2 19	10	2 20	12	3 26
医療技術者 常勤	0	0 19	5	1 21	0	0 21
医療技術者 非常勤	0	0 3	67	2 3	0	0 1
医療福祉相談室 常勤	0	0 2	0	0 3	0	0 3
チャプレン	0	0 1	0	0 1	0	0 1
ヘルパー 常勤	16	3 19	6	1 17	18	3 17
ヘルパー 非常勤	0	0 7	13	1 8	14	1 7
全体	13	21 205	13	27 207	7	14 207

・有給消化率

当院部署ごとの有給消化率を示しています。

	2020年度		2021年度		2022年度	
	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)
医師	14	40 292	24	84.5 345	26	81.5 317
看護師 常勤	51	842 1665	47	835 1758	54	988 1839.5
看護師 非常勤	64	244 384	64	232.5 362.5	56	156 279
事務 常勤	43	346 795.5	46	397 872.5	49	464.5 944
事務 非常勤	72	199.5 275.5	73	180 245	62	171 278
医療技術者 常勤	43	239 562	44	276 624	50	321 642.5
医療技術者 非常勤	54	27 50	81	50 62	76	13 17

	2020年度		2021年度		2022年度	
	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)
医療福祉相談室 常勤	27	21 77	44	41 93	47	47 100
チャプレン	48	18 37.5	50	20 40	89	35.5 40
ヘルパー 常勤	56	290 519	53	278.5 524.5	52	272.5 525.5
ヘルパー 非常勤	44	38 87	67	74 111	66	54 81.5
全体	51	1422.5 2787.5	49	2468.5 5037.5	51	2604 5064

予防医療

・職員喫煙率

自らの健康への配慮も十分に行う必要があり、病院敷地内禁煙が強く求められ、当院でも実施しています。
当院職員の喫煙者数を示しています。

$$\text{喫煙率(\%)} = \frac{\text{喫煙者数(人)}}{\text{職員数(人)}} \times 100$$

(回収率100%)

	2020年度	2021年度	2022年度
総数(人)	200	220	219
喫煙者数(人)	6	5	6
喫煙率(%)	2.7	2.3	2.7

・職員健康診断受診率

職員の安全と健康を確保するために、労働安全衛生法により、全職員に実施することが義務付けられています。
当院職員健康診断を受けた数を示しています。

$$\text{受診率(\%)} = \frac{\text{健診受診者数(人)}}{\text{職員数(人)}} \times 100$$

※休職者を除く

	2020年度		2021年度		2022年度	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
総数(人)	213	63	187	60	234	61
受診者数(人)	211	61	184	59	232	61
休職者数(人)	2	2	3	1	2	0
受診率(%)	100	100	100	100	100	100

* 2回目対象者: エクセルバッジ保持者、夜勤者、エチレンオキサイトガス使用者

研修生受入

・研修生受入件数

当院は、未来を担う医師、看護師、コメディカルを育成していくことも大切な役割の一つと考えております。年間を通して様々な研修生を受け入れています。

単位：人

2020年度 所属	人数
看護協会より 訪看実習	1
埼玉医科大学 看護部4年生	4
大東文化大学 看護学部4年生	21
埼玉医療福祉会看護専門学校 訪問看護実習	4
東京聖書学院(学生)	2
東京聖書学院(教員)	1
埼玉医科大学病院(研修医)	6
埼玉医科大学国際医療センター(外科専攻)	1
合 計	40

単位：人

2021年度 所属	人数
障害者雇用に向けた職場実習	1
埼玉医科大学 看護部4年生	4
埼玉医療福祉会看護専門学校 看護師	6
埼玉医科大学医学部 6年生	7
(株)カネカメディックス東京第二営業所 血液浄化チーム	1
メキシコより国際留学生	1
清泉女学院大学	1
合 計	21

単位：人

2022年度 所属	人数
障害者雇用に向けた職場実習	1
埼玉医療福祉会看護専門学校 看護師	6
埼玉医科大学医学部 4年生	1
埼玉医科大学医学部 6年生	2
埼玉医科大学病院 研修医	3
合 計	13

活動報告

- 【訪問看護ステーションシャローム】
- 【介護支援事業所シャローム】
- 【ヘルパーステーションシャローム】

訪問看護ステーション



概要

病気や障害をお持ちの方や高齢者の方などが、住み慣れたお家で安心して生活して暮らしていただけるように医療・介護サービスと連携を図りながら援助しています。

利用者様の主治医（かかりつけ医）の指示に従い、病状の観察・清拭・入浴介助・洗髪・食事や排泄などの介助や指導・医療機器の管理・床ずれの処置や手当の指導・内服薬の相談や残薬の確認・点滴やカテーテル管理（胃ろう・尿留置カテーテル）ターミナルケア（がん末期や終末期を自宅で過ごせるように支援）など、経験を積んだ看護師が、スタッフ同士皆で横の連絡も常に行いながらご自宅に訪問しケアを行っています。

職員

2023年3月31日現在

管理者	1名		
正看護師	11名	（常勤：7名（管理者含む）	非常勤：4名）
理学療法士	2名	（常勤）	
事務員	1名	（常勤）	

2022年度目標

- ①本人やご家族の気持ちを尊重し、信頼関係を作りながらそれぞれの生活の場にあった住み慣れたお家で生活して暮らしていただけるように思いやりのある丁寧な看護提供をする。また、地域や関係医療機関と連携を図りながら、地域に密着したステーションを目指す。
- ②後継者の育成に努め看護学生の実習の受け入れを行い、将来の仲間として各学校のすべての学生が安全に無事故で当訪問看護ステーションの実習を終了することができる。
- ③スタッフの間で、報告・連絡・相談が常に行われスタッフの業務の達成感の向上を図っていく。
- ④月1回のミーティング・院内外の研修に積極的に参加し、また共有し職員のケアの質の向上を図っていく。
- ⑤働き方改革を念頭に置き、訪問看護師の人数増員を目指し、負担ないように働き続けられる職場作りをしていく。
- ⑥COVID-19 感染対策の強化を行っていく。

目標の達成・反省

- ①新規利用者数は 66 人、院内外の方々よりご相談があり支援しました。昨年度より新規は大幅に減少となりましたがコロナ禍もあり、日々の状況を確認しつつ受け入れしていきます。ご自宅や施設での看取りは 44 人。心をこめてご家族の方とともに一緒にケアさせていただきました。今後も在宅生活の中で安心して過ごしていただけるように多職種と連携し支援していきます。
- ②埼玉医科大学保健医療学部（4 年生）看護学生は、5 月から 6 月まで 6 名の実習生を受け入れました。コロナ禍でしたが、安全に実習を終了する事ができました。スタッフ全員振り返りを行い次年度の実習につなげていきます。
- ③ステーション内の研修は、密を防ぎながら ZOOM を活用しリハビリの研修を行いました。また、次年度も今後各委員会の研修にも積極的に学び、他スタッフと共有し、レベル高い知識と向上心を持ち行っていきたくと思います。
- 2020 年 4 月より理学療法士 2 名、看護師 11 名、事務 1 名にて計 14 名で運営しています。MCS（メディカルケアステーション）の活用を行い、また紙カルテから 2021 年 9 月よりタブレットを活用し記録管理をはじめ、各自がタブレットを持参し、訪問先や移動中の隙間時間など職員間の情報を効率よく順調に行えております。今後も報告・連絡・相談を密に行い多職種と連携を図り、皆が一つの同じ方向性で進めるようにまた、これからも風通しの良い職場にしていきたくと思います。ここ数年、新型コロナウイルス感染症に伴い感染症対策を行いつつ支援してまいりました。引き続き感染症対策を行いつつ安全に支援できますようにスタッフ一丸となりケアを行って参ります。そして、次世代の看護師の募集をかけつつ、よりよい支援ができるよう職員みな健康にも気をつけてまいります。スタッフ一同でシャローム病院の理念に寄り添いながらやさしく温かい医療に努めていきたくと思います。

実績

*新規状況（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2022	2021
新規	11	5	6	6	6	3	5	5	5	6	5	3	66	97
介護	9	5	2	3	6	2	3	3	3	4	2	1	43	51
医療	2	0	4	3	0	1	2	2	2	2	3	2	23	46

*訪問看護 在宅看取り数（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

（単位：人）

在宅看取り人数	44
自宅	18
病院・施設	26

*2022 年度 看護学生実習生（2022 年 5 月 9 日～2022 年 6 月 30 日）

埼玉医科大学保健医療学部看護学科 6 名

介護支援事業所



概要

介護保険サービスのご利用者様の相談窓口です。ご利用者様の要望や心身の状態に合わせ、医療サービス、市町村、地域包括支援センター、介護サービス事業者との連携を図り、安心して日常生活が送れるよう支援しています。利用者様の有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう配慮し、ケアプランを作成します。

また、利用者様のご自宅へ毎月定期的に訪問し、新たな相談事はないか確認させていただいています。

入院中の患者様（要介護者）やご家族へ退院後の介護サービス計画を提示することで安心して在宅への移行ができるように支援しています。

職員

管理者		1名	（介護支援専門員兼務）
介護支援専門員	常勤	4名	
	非常勤	1名	（主任ケアマネ4名）
基礎資格	看護師	1名	
	介護福祉士	4名	
事務員		1名	

2022年度目標

- ・要介護者様とご家族の要望に添えるように、医療と介護の多職種で連携を図り優しく、温かいサービスが提供できるように努めます。
- ・研修に参加する事でスキルアップし日々の業務に活かします。
- ・週1回のミーティングで情報を共有し、チームワークを図りながらより良いサービスに繋げていきます。
- ・利用者の声に耳を傾け、温かい心と冷静な判断、幅広い知識をもって、関係機関と連携しつつ自立支援の観点に立って、その人にふさわしいケアプランを提供し、適切な給付管理を行う。
- ・適切な情報収集をし、引き続き新型コロナウイルスの感染予防に努める。

目標の達成・反省

- ・それぞれが持てる力を十分に発揮し、協力し合いながら支援することで例年とほぼ同様の利用者実績を維持することが出来ている。
 - ・新型コロナウイルス感染予防の対策について、引き続き在宅勤務を導入し柔軟な動きを取り入れることで、感染リスクを下げつつ臨機応変な対応をすることができた。実際に部署内職員に陽性者（無症状）が出たときも休みではなく在宅勤務とすることで利用者、家族に負担をかけることなく必要な支援を継続することが出来た。
- また、在宅勤務を導入する中で定期的に見直しを行い、それぞれが意見を出し合い改善点を見つけながら取り組むことが出来た。

参加研修の内容

- ・ケアマネジメント従事者研修
- ・介護支援専門員レベルアップ研修
- ・認知症、医療研修
- ・高齢者虐待防止研修
- ・在宅医療と介護の連携
- ・地域包括ケアシステムについて
- ・緩和ケア研修
- ・事例検討会

以上は研修内容の一部ですが、研修に自発的に参加し個々でスキルアップを図っております。特に医療と介護の連携については今後の課題となるためこれからも新しい知識を習得し日々の業務に活かしていきます。

実績

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数(継続)	163	162	165	163	170	168	166	163	165	164	166	161	1976
契約者数(新規)	2	6	3	6	3	2	6	4	1	4	3	5	45
契約終了者	4	1	1	2	3	1	5	2	2	6	8	4	39
計	161	167	167	167	170	169	167	165	164	162	161	162	1942

※ケアマネ一人の担当件数には制限があります。

毎月新規利用者様の電話相談、窓口相談、医療相談員からの相談等が多数あります。

入院・入所・死亡等により毎月のご利用者様の増減の変化も多いことが当事業所の特徴です。

※その他実績としては相談業務以外にご利用者様の申請等に係る代行を市町村に行います。市役所から委託された認定調査を実施しています。

ヘルパーステーション



概要

介護保険（訪問介護・通院等乗降介助）

生活サポート（在宅介護・送迎・外出援助）

職員

管理者	1名		
サービス提供責任者	2名		
訪問介護員	12名	}	介護福祉士 9名
			ヘルパー2級 3名
事務員	1名		

2022年度目標

- ① 要介護者等の心身の特性を踏まえ、その能力に応じた日常生活の自立を妨げない援助を行います
- ② 関係市町村・地域の保険・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます
- ③ 緩和ケア
病院との連携を図り、体制を整え迅速かつ丁寧な対応を心がける
利用者様とご家族のお気持ちに寄り添います
- ④ スタッフの質の向上を図る
職場のミーティング等で情報共有に努めます
- ⑤ ヘルパーの働きやすい職場作り
お互いを思いやり、いくつになっても活躍できるチーム作り
後継者育成の継続
- ⑥ 感染対策の継続
Covid-19など様々な感染に対して感染対策継続する
- ⑦ 赤字を減らす行動
一人1件訪問時間を増やす
各自 稼働時間の拡張

目標の達成・反省

- ① 声かけを工夫し調理など一緒におこなうことで、意欲を引き出し前向きな生活を続けていただくことが出来ました。
(なかには、半年で自立され訪問介護卒業された方もいらっしゃいます)
- ② MCSを利用することで他業種からの報告を瞬時に把握、体調の変化に迅速に対応することが出来ています。コロナ禍での対応に大いに助かりました。

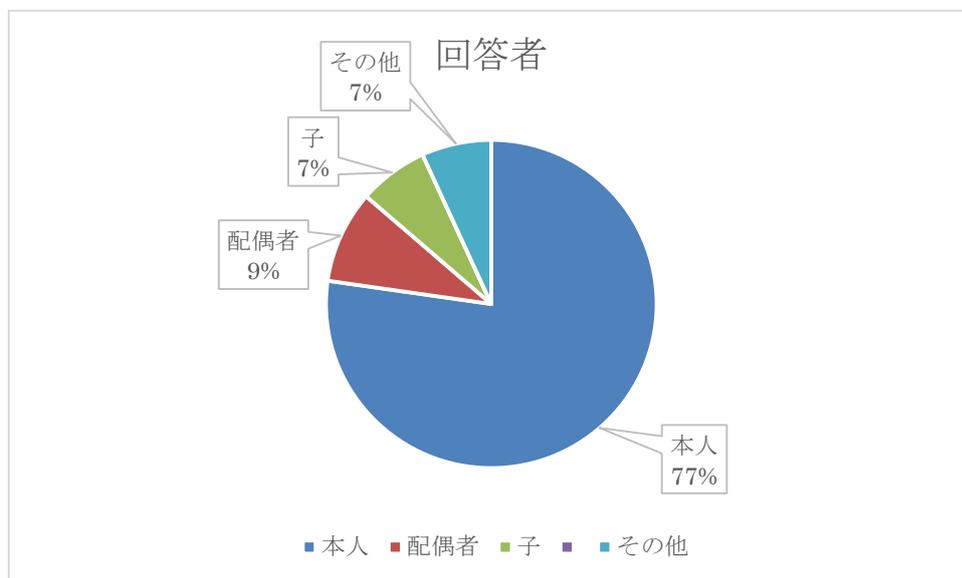
- ③ 病院からの依頼に対応、ご本人はもちろんご家族の不安なお気持ちにも寄り添うことができ、心のケアに努めました。
- ④ 対面でのミーティング回数はコロナ禍の為減りましたが、オンライン配信での研修に参加しスタッフの質の向上や情報共有に努めました。
- ⑤ ベテランのヘルパーが多く活躍してくれているなか、新しいスタッフの増員は望めませんでした。10年以上勤務、気心の知れたメンバーがお互いを思いやりながら勤務している働きやすい職場です。
- ⑥ 病院の指導の下、感染対策をおこない利用者様に感染させることなく訪問することが出来ました。
- ⑦ 大きな変化はなかなか望めませんが、少しずつ各自の意識変化は見られます。今後もアプローチを継続、成果に結びつけられるよう努めていきたい。

実績

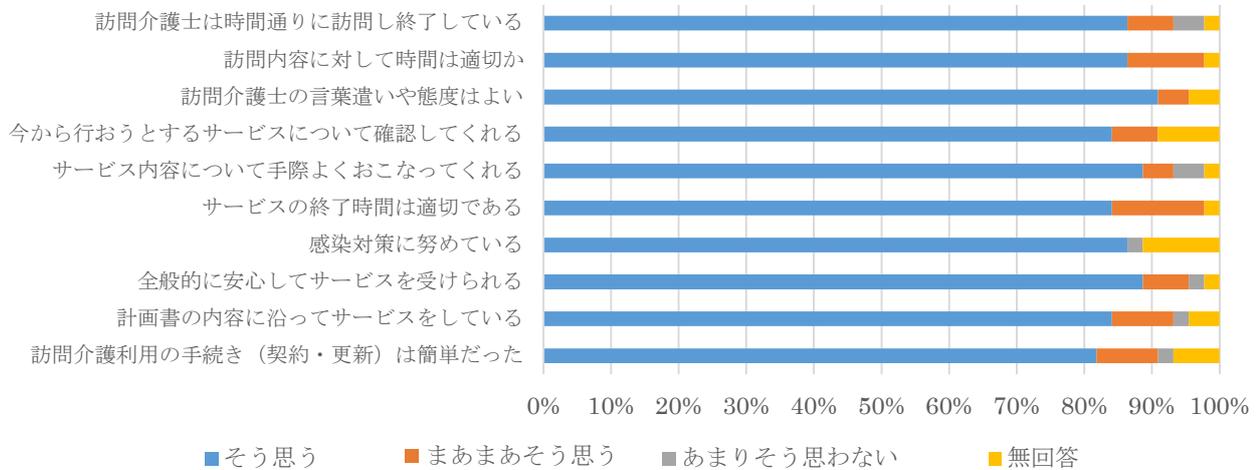
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用者	49	47	44	46	47	47	46	47	49	51	50	50	573
介護保険利用者(新規)	2	0	1	3	1	3	1	3	2	4	2	2	24
介護保険終了者	0	3	2	1	1	2	4	0	0	1	3	1	18
生活サポート利用者	8	7	8	9	11	13	12	15	12	9	9	11	124

サービスに関するアンケート

アンケート回答率 91 %



訪問介護士が行うサービスについて



【事業所へのご意見】

○適切にヘルプをいただきお陰様で心身ともに改善しております。
ありがとうございます。

○いつも気持ちよく明るくてきばきといつもやってくれます。

○私は、あまりよくしてもらっていません。
もっと丁寧にして頂きたい。お金も高いので
宜しくお願い致します。

○風呂、助かっております。

○とても良くして頂いています。体調によっては、わがママを言うと思いますが宜しくお願い致します。

○いつもお世話になります。信用してお任せできるヘルパーさんです。
これからもよろしく願います。

○皆さんに頼りっぱなし、本当に助かってますよ。

シャロームにつさい医院

医 院 概 要

シャローム病院の分院として 2011 年 4 月に坂戸市に開院しました。

診 療 科 目

内科、神経内科、胃腸内科、乳腺外来、頭痛外来、もの忘れ外来、女性外来、禁煙外来
訪問診療、往診、その他各種健診、予防接種

機 器

レントゲン、マンモグラフィー、超音波検査、心電図、上部および下部内視鏡

職 員 数

(2023 年 3 月 31 日現在)

職 種	常 勤	非 常 勤
医師	1	3
看護師	1	4
放射線技師		1
臨床検査技師		1
事務職員	2	1

診 療 実 績

1. 患者数

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
外来患者数	9663	9040	7861	9935	9685
一日平均外来患者数	34.1	32.4	27.6	34.9	34.6

2. 訪問患者数

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
訪問患者数	7	7	6	2	2
年間訪問患者延べ人数	62	106	41	23	18

3. 超音波検査

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
乳腺超音波検査	162	184	174	183	111
その他超音波検査	68	58	63	73	98
超音波検査総数	230	242	237	256	209

4. マンモグラフィー

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
市町村乳がん検診	229	195	232	264	271
その他(自費・健保)	141	160	148	154	91
合 計	370	355	380	418	362

5. 内視鏡検査

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
上部内視鏡	156	174	141	170	173
下部内視鏡	36	50	39	32	35

6. 人間ドック

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
人間ドック受診者数	11	18	10	12	12

2022 年度 学会発表・講演・論文発表など

座長

Migraine Seminar on WEB 適切な患者について考える

「片頭痛を忘れる日常を目指して片頭痛クリニカルナターシャに向けたエムガルテイへの期待」

2022 年 4 月 8 日 坂戸グランドホテル zoom 配信

演者（スライドあり）：ディスカッサー

「片頭痛診療 Up to Date in Saitama」

片頭痛診療、新たな一手、次の一手 — 発症抑制薬エムガルテイと急性期治療薬レイボーの使い方 —

2022 年 9 月 27 日 坂戸グランドホテル zoom 配信

座長

—CGRP 抗体製剤の登場から 1 年を振り返る—

2022 年 11 月 11 日 埼玉医科大学丸木記念館 zoom 配信

学会発表

○福井海樹、糸川かおり、山元敏正

一般病院における医療従事者の慢性頭痛の現状について

第 50 回日本頭痛学会総会（2022 年 11 月 25 日 品川プリンスホテル）

2022 年度をふりかえって

感染対策に追われた一年でした

医療法人社団シャローム

